

2017年7月3日

いすゞ、コロンビアで車両用中古エンジン再生事業に進出

いすゞ自動車株式会社(本社：東京都品川区、社長：片山正則、以下「いすゞ」)は、米国 HELM ホールディング傘下でコロンビア国内に広域の修理・整備網を持つ National Truck Service 社(ナショナルトラックサービス 以下「NTS」)とお客様の車両維持コスト低減及び資源の有効活用を目的とした合併会社、『ISUZU REMANUFACTURA DE COLOMBIA S.A.S.』(いすゞレマヌファクトゥーラデコロンビア、以下「IRC」)を設立することで合意しました。

IRC は首都ボゴタ市に設立し、いすゞ車向けの車両用中古エンジンの再生(リマニ生産)事業をおこないます。いすゞは、2008年より同国に新車販売のマーケティング会社 GM-Isuzu Camiones Andinos de Colombia, Ltda.社(GMICA - Colombia)をゼネラルモーターズ・サウスアメリカ社(本社：サンパウロ)と合併で設立しており、再生エンジン事業においても同社との協業を進めて参ります。

いすゞは同国商用車市場において50%を超える高いシェアを持っており、車両の供給に加え高品質の再生エンジンを提供することで、お客様の車両のランニングコスト低減に貢献し、「運ぶ」を支えて参ります。

<新会社概要>

(1) 名称	ISUZU REMANUFACTURA DE COLOMBIA S.A.S. いすゞレマヌファクトゥーラデコロンビア
(2) 所在地	コロンビア共和国首都ボゴタ
(3) 代表者	槌永 浩二
(4) 事業内容	車両用中古エンジン再生事業(リマニ生産事業)
(5) 資本金	2,500,000 米ドル(約 2.7 億円)
(6) 設立年月	2017年7月
(7) 営業開始	2017年11月
(8) 出資比率	いすゞ 46% いすゞエンジン製造北海道 5% National Truck Service 49%

以上